



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月27日

上場会社名 キムラユニティー株式会社
コード番号 9368 URL <https://www.kimura-unity.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 成瀬 茂広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長管理本部長 (氏名) 小山 幸弘

TEL 052-962-7053

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

2022年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	28,317	5.1	1,354	9.9	1,989	27.3	1,243	23.0
2022年3月期第2四半期	26,948	13.1	1,232	116.6	1,562	162.0	1,011	252.5

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,263百万円 (24.6%) 2022年3月期第2四半期 1,817百万円 (620.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	53.75	
2022年3月期第2四半期	41.89	

(注) 当社は、2022年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	55,627	34,383	58.4	1,463.92
2022年3月期	56,024	33,519	57.1	1,360.63

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 32,484百万円 2022年3月期 31,970百万円

(注) 当社は、2022年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		20.00		32.00	52.00
2023年3月期		15.00			
2023年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2022年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、2023年3月期(予想)の配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2023年3月期(予想)の年間配当予想は60円(8円増配)となります。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	5.1	3,300	12.3	3,800	3.5	2,500	14.6	104.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(株) 当社は、2022年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」は、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	23,543,800 株	2022年3月期	23,500,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,353,498 株	2022年3月期	3,498 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	22,190,302 株	2022年3月期2Q	24,136,502 株

(注) 当社は、2022年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による世界的な行動制限の緩和を受けて、緩やかな回復が見られたものの、日米金利差拡大を受けた急速な円安の進行に加え、ロシア・ウクライナ問題の長期化などによる原材料コストの高止まりが続く中、海外からの部品調達難や物流の混乱により、生産制約や品不足の深刻化の懸念、新型コロナウイルス感染症再拡大など様々な影響を注視する必要があるとあり、景気の先行きは不透明な状況となっております。海外においても、ロシア・ウクライナ問題の長期化を契機とした海外経済の減速懸念は高まっており、国際商品価格の高騰で原材料コストの高止まりや、米国をはじめとする世界各国の経済・金融政策や為替の動向、中国のゼロコロナ政策の継続とそれに伴う経済活動の停滞は、今後も多く地域や産業に影響を及ぼす可能性があり、国内外ともに依然として先行きは不透明な状況が続いております。

また、当社グループと関係の深い自動車業界におきましては、新型コロナウイルス感染症対策の世界的な進展により、業界全体で平時に向かっていくと期待されていたものの、ロシア・ウクライナ問題の長期化、中国のゼロコロナ政策継続の影響に加え、2016年より話題であった「CASE」というテーマが「脱炭素化」や「デジタル化」により一段と進展する等、先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような環境の中で当社グループにおきましては、物流サービス事業における格納器具製品事業の受注量の増加等により、売上高は28,317百万円（前年同期比5.1%増収）となりました。

営業利益は、国内包装事業での主要顧客の工場閉鎖等の影響はあったものの、全社で展開している収益改善施策の進展等により1,354百万円（前年同期比9.9%増益）、経常利益は、営業利益の増益に加え、円安の進行による為替差益の増加等により、1,989百万円（前年同期比27.3%増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増益等により、1,243百万円（前年同期比23.0%増益）となりました。

なお、主なセグメント別の売上高（セグメント間の内部売上を含む）、営業利益の状況は次の通りであります。

① 物流サービス事業

売上高は、国内包装事業における主要顧客からの受注量の減少はあったものの、格納器具製品事業の受注量の増加等により、20,186百万円（前年同期比6.3%増収）となりました。営業利益は、工場稼働の停止等物量の減少に伴う生産性の悪化もある中、収益改善の進展により、1,680百万円（前年同期比0.9%減益）にとどまりました。

② 自動車サービス事業

売上高は、国内子会社株式会社スーパージャンボの新車販売台数の減少等の影響により、6,949百万円（前年同期比0.2%減収）となりました。営業利益は車両リース事業におけるリース満了車の売却価格の改善等により、374百万円（前年同期比27.7%増益）となりました。

③ 情報サービス事業

売上高は、主要顧客からの受注量の増加等により、804百万円（前年同期比7.7%増収）となりました。営業利益は外注委託費の削減等の業績改善策の進展により、86百万円（前年同期比174.5%増益）となりました。

④ 人材サービス事業

売上高は、市場の人材獲得競争の中、エリア貢献の拡販（中部、関西、関東への展開）実現に向けて積極的な拡販活動や新規顧客の獲得に注力したこと等により、704百万円（前年同期比52.7%増収）となりました。営業利益は1百万円（前期は0百万円の損失）となりました。

⑤ その他サービス事業

売上高は、売電サービスにより、27百万円（前年同期比7.3%増収）となりました。営業利益は11百万円（前年同期比18.8%増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は55,627百万円となり、前連結会計年度末に比較して397百万円の減少となりました。その主な要因は、流動資産が受取手形、売掛金及び契約資産の減少等により1,279百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は21,243百万円となり、前連結会計年度末に比較して1,261百万円の減少となりました。その主な要因は、固定負債が2,418百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比較して864百万円増加の34,383百万円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末比1.3ポイント上昇の58.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比較して111百万円減少し8,106百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間におきましては、1,491百万円の収入で、前年同四半期に比べ570百万円の収入増となりました。主な要因は受取手形、売掛金及び契約資産の減少に伴い、売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)が954百万円増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間におきましては476百万円の支出で、前年同四半期に比べ258百万円の支出増となりました。主な要因は倉庫賃貸借契約に伴う保証金の支払等により、投資その他の資産の増減額(△は増加)が155百万円減少したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間におきましては1,641百万円の支出で、前年同四半期に比べ1,199百万円の支出増となりました。主な要因は自己株式の取得による支出1,055百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年4月28日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,688	8,576
受取手形、売掛金及び契約資産	10,297	9,018
リース投資資産	7,497	7,059
商品及び製品	430	416
仕掛品	31	50
原材料及び貯蔵品	337	545
その他	875	1,212
貸倒引当金	△0	△2
流動資産合計	28,157	26,877
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,508	8,999
機械装置及び運搬具（純額）	526	565
賃貸資産（純額）	467	443
土地	6,813	6,847
リース資産（純額）	664	594
建設仮勘定	3	11
その他（純額）	1,275	1,372
有形固定資産合計	18,260	18,835
無形固定資産		
のれん	29	20
その他	1,146	1,165
無形固定資産合計	1,175	1,186
投資その他の資産		
投資有価証券	5,313	5,106
繰延税金資産	172	192
その他	2,986	3,478
貸倒引当金	△42	△49
投資その他の資産合計	8,430	8,728
固定資産合計	27,867	28,750
資産合計	56,024	55,627

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,319	1,100
短期借入金	845	1,004
1年内返済予定の長期借入金	1,000	3,000
未払金	3,049	2,427
未払費用	2,720	3,028
リース債務	481	535
未払法人税等	787	726
賞与引当金	1,266	1,020
役員賞与引当金	40	15
その他	1,057	865
流動負債合計	12,567	13,723
固定負債		
長期借入金	3,000	1,000
長期未払金	4,728	4,321
リース債務	1,013	893
繰延税金負債	118	19
退職給付に係る負債	-	9
再評価に係る繰延税金負債	874	874
その他	201	400
固定負債合計	9,937	7,519
負債合計	22,505	21,243
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,580	3,596
資本剰余金	3,414	3,430
利益剰余金	22,725	23,593
自己株式	△2	△1,058
株主資本合計	29,717	29,561
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,593	1,378
土地再評価差額金	534	534
為替換算調整勘定	528	1,366
退職給付に係る調整累計額	△403	△356
その他の包括利益累計額合計	2,252	2,923
非支配株主持分	1,549	1,898
純資産合計	33,519	34,383
負債純資産合計	56,024	55,627

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	26,948	28,317
売上原価	22,156	23,316
売上総利益	4,792	5,001
販売費及び一般管理費	3,560	3,647
営業利益	1,232	1,354
営業外収益		
受取利息	29	32
受取配当金	39	43
持分法による投資利益	217	212
為替差益	43	356
その他	45	32
営業外収益合計	376	677
営業外費用		
支払利息	36	32
その他	9	9
営業外費用合計	45	42
経常利益	1,562	1,989
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	77	—
特別利益合計	78	2
特別損失		
固定資産除売却損	14	11
契約解除損失	—	9
その他	0	0
特別損失合計	15	21
税金等調整前四半期純利益	1,625	1,970
法人税、住民税及び事業税	543	603
法人税等調整額	△53	△16
法人税等合計	489	587
四半期純利益	1,135	1,383
非支配株主に帰属する四半期純利益	124	139
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,011	1,243

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,135	1,383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	102	△215
為替換算調整勘定	511	957
退職給付に係る調整額	52	47
持分法適用会社に対する持分相当額	14	90
その他の包括利益合計	681	880
四半期包括利益	1,817	2,263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,585	1,914
非支配株主に係る四半期包括利益	231	349

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,625	1,970
減価償却費	813	798
のれん償却額	7	7
持分法による投資損益(△は益)	△217	△212
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△235	△277
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△15	△25
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△115	△131
受取利息及び受取配当金	△69	△75
支払利息	81	71
為替差損益(△は益)	△43	△344
有形固定資産売却損益(△は益)	△104	△94
有形固定資産除却損	14	7
無形固定資産除却損	-	4
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△77	-
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	652	1,606
棚卸資産の増減額(△は増加)	△153	△182
リース投資資産の増減額(△は増加)	367	298
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△315	△343
仕入債務の増減額(△は減少)	△149	△235
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△277	△824
長期未払金の増減額(△は減少)	△415	△407
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△223	198
小計	1,149	1,812
利息及び配当金の受取額	191	279
利息の支払額	△81	△73
法人税等の支払額	△338	△526
営業活動によるキャッシュ・フロー	921	1,491
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△368	△235
有形固定資産の売却による収入	243	113
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	105	-
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△197	△353
投資活動によるキャッシュ・フロー	△217	△476
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,000	-
長期借入金返済による支出	△1,000	-
リース債務の返済による支出	△188	△210
自己株式の取得による支出	-	△1,055
配当金の支払額	△253	△375
財務活動によるキャッシュ・フロー	△442	△1,641
現金及び現金同等物に係る換算差額	259	514
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	521	△111
現金及び現金同等物の期首残高	7,956	8,218
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,478	8,106

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2022年8月25日開催の取締役会に基づき、自己株式1,350,000株を1,055百万円で取得いたしました。これにより、当連結累計期間において自己株式が1,055百万円増加しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流サー ビス事業	自動車サー ビス事業	情報サー ビス事業	人材サー ビス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	18,983	6,945	747	246	26,922	25	26,948	-	26,948
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	20	-	214	245	-	245	△245	-
計	18,994	6,965	747	461	27,168	25	27,194	△245	26,948
セグメント利益又は損失(△)	1,695	293	31	△0	2,018	9	2,028	△796	1,232

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. セグメント利益の調整額△796百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△797百万円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流サー ビス事業	自動車サー ビス事業	情報サー ビス事業	人材サー ビス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	20,176	6,929	804	379	28,290	27	28,317	-	28,317
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	20	-	324	354	-	354	△354	-
計	20,186	6,949	804	704	28,644	27	28,672	△354	28,317
セグメント利益	1,680	374	86	1	2,142	11	2,153	△799	1,354

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. セグメント利益の調整額△799百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△801百万円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

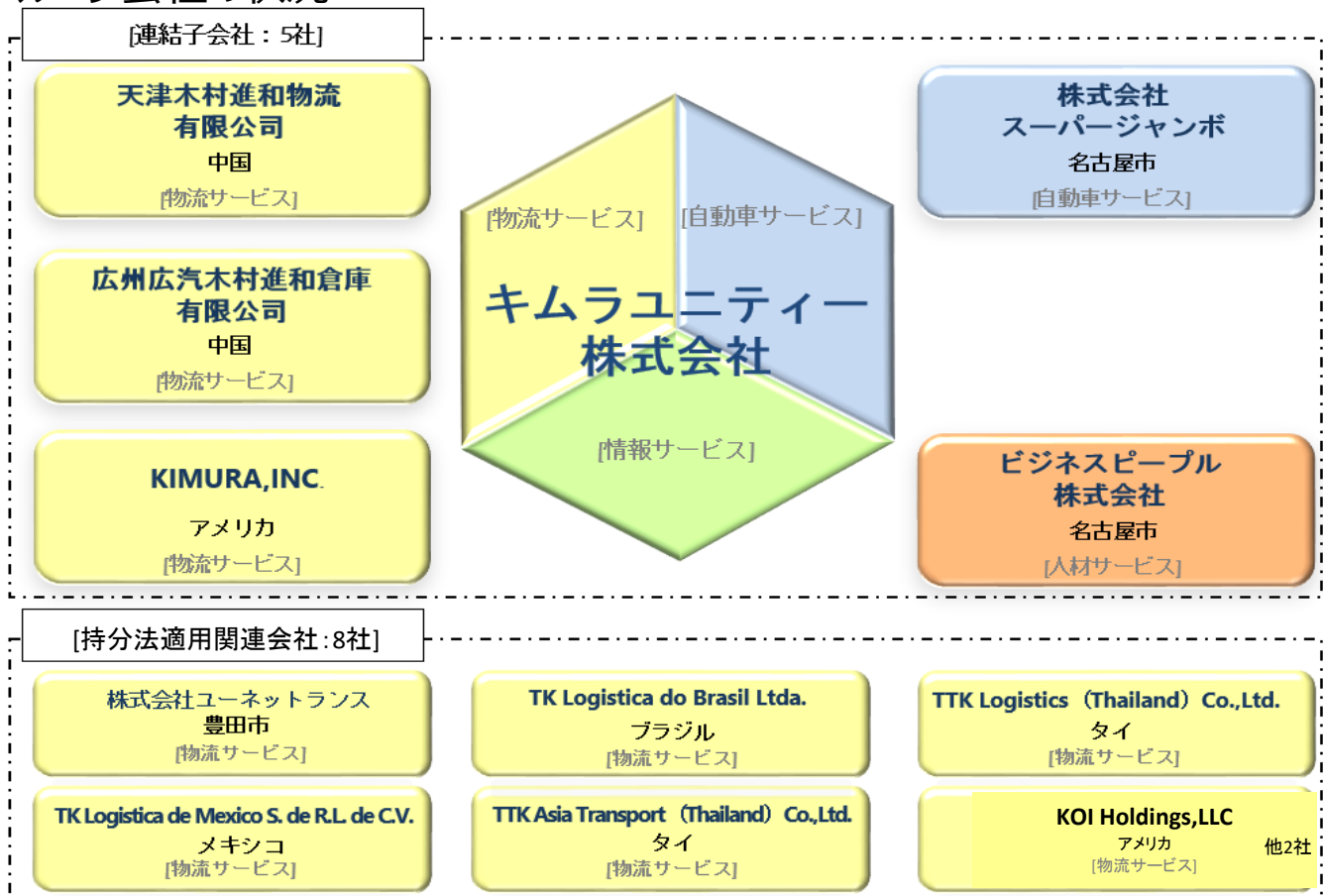
2023年3月期 第2四半期累計 決算発表 説明資料

2022年10月27日

本資料には現時点での将来の予測数値が含まれていますが、
実際の業績は様々な要因により変動することがありますのでご注意ください。
2022年6月30日を基準日とした株式分割を実施しておりますので、
それに伴い2023年3月期の1株当たりの数値は変更しております。

グループ会社の状況

※前期末からの変動はありません。



1. 連結決算の実績

(1) 連結業績

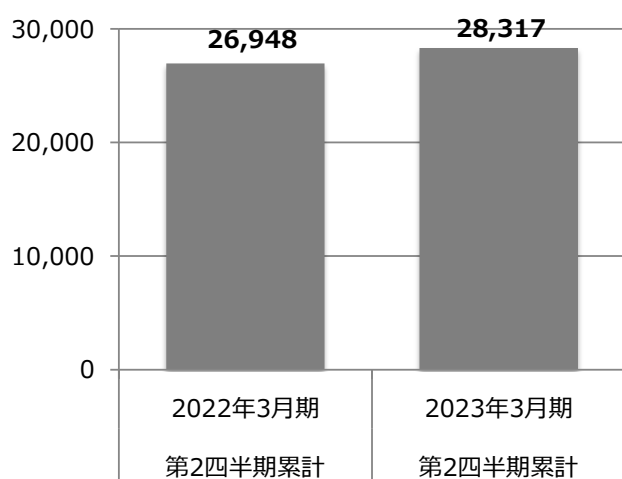
- 売上高は、2期連続の増収
- 営業利益・経常利益・四半期純利益は、2期連続の増益

(売上・利益ともに第2四半期累計において過去最高)

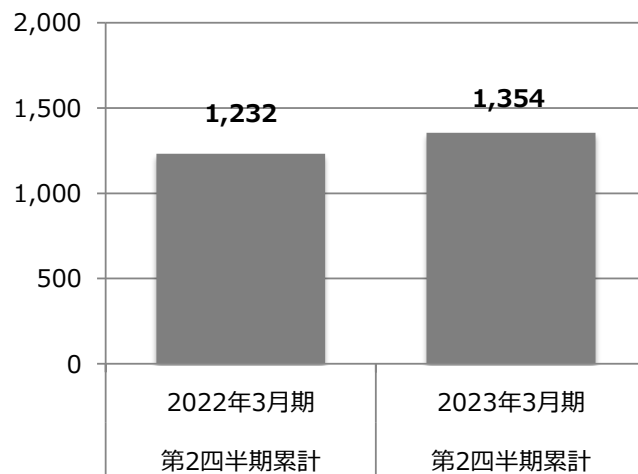
(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期累計	2023年3月期 第2四半期累計	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (%)
売上高	26,948	28,317	1,369	105.1
営業利益	1,232	1,354	122	109.9
経常利益	1,562	1,989	426	127.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,011	1,243	232	123.0
1株当たり四半期純利益	41円89銭	53円75銭	11円86銭	
包括利益	1,817	2,263	446	124.6

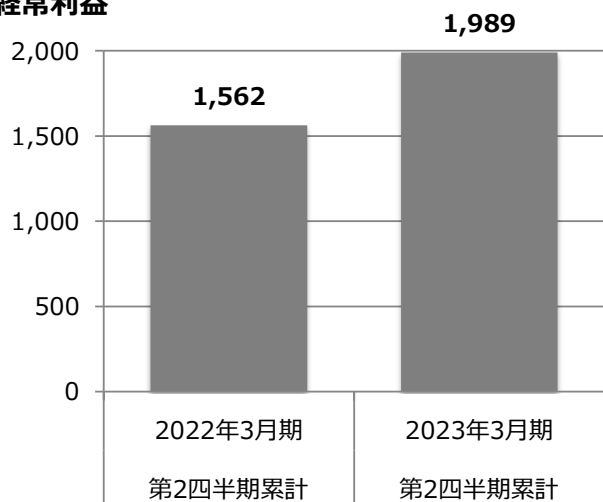
売上高



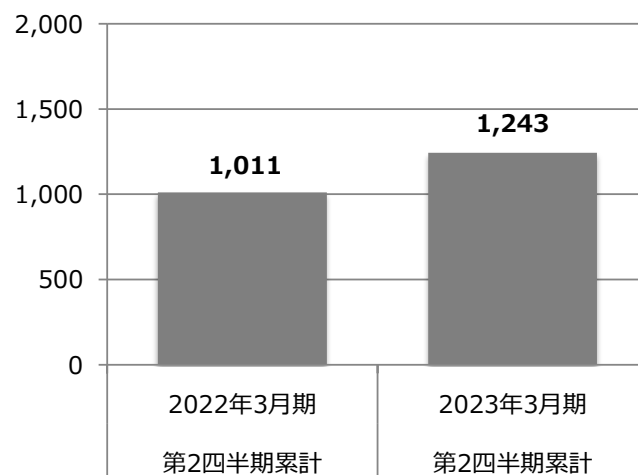
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



1. 連結決算の実績

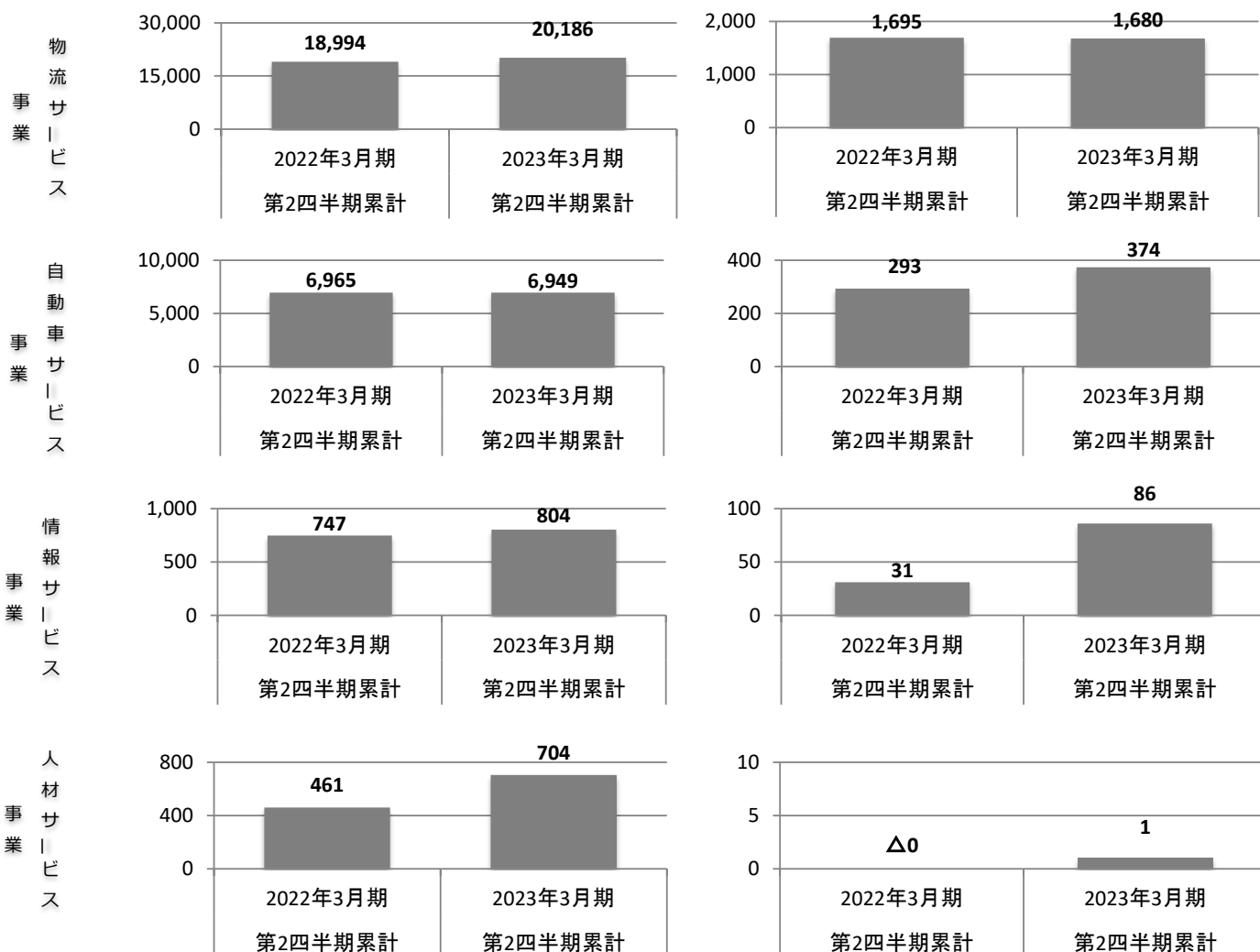
(2) セグメント別業績

(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期累計	2023年3月期 第2四半期累計	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (%)
物流サービス事業	18,994	20,186	1,192	106.3
自動車サービス事業	6,965	6,949	△ 16	99.8
情報サービス事業	747	804	57	107.7
人材サービス事業	461	704	243	152.7
その他サービス事業	25	27	1	107.3
小計	27,194	28,672	1,478	105.4
消去又は全社	△ 245	△ 354	△ 109	—
売上高	26,948	28,317	1,369	105.1
物流サービス事業	1,695	1,680	△ 14	99.1
自動車サービス事業	293	374	81	127.7
情報サービス事業	31	86	54	274.5
人材サービス事業	△ 0	1	2	—
その他サービス事業	9	11	1	118.8
小計	2,028	2,153	125	106.2
消去又は全社	△ 796	△ 799	△ 3	—
営業利益	1,232	1,354	122	109.9

売上高

営業利益



1. 連結決算の実績

(3) 連結品目別売上高

(単位：百万円)

売上区分	売上品目	2022年3月期 第2四半期累計	2023年3月期 第2四半期累計	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (%)
物流サービス事業	包装	16,404	16,815	410	102.5
	格納器具製品	2,589	3,371	781	130.2
		18,994	20,186	1,192	106.3
自動車サービス事業	車両リース	3,551	3,377	△ 173	95.1
	車両整備	2,108	2,339	230	110.9
	自動車販売	883	811	△ 72	91.8
	カー用品販売	71	73	2	103.3
	保険手数料	330	323	△ 7	97.8
	その他	21	24	3	117.3
自動車サービス事業		6,965	6,949	△ 16	99.8
情報サービス事業		747	804	57	107.7
人材サービス事業		461	704	243	152.7
その他サービス事業		25	27	1	107.3
小計		27,194	28,672	1,478	105.4
セグメント間売上相殺		△ 245	△ 354	△ 109	-
合計		26,948	28,317	1,369	105.1

(4) 財政状態

(単位：百万円)

	2022年3月期 期末	2023年3月期 第2四半期累計	前期比 (増減額)	前期比 (%)
総資産	56,024	55,627	△ 397	99.3
自己資本	31,970	32,484	514	101.6
自己資本比率(%)	57.1	58.4	1.3	
1株当たり純資産	1,360円63銭	1,463円92銭	103円29銭	

(注) 当第2四半期会計期間末の財政状態は、前期末数値と比較しております。

(5) キャッシュ・フロー計算書について

(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期累計	2023年3月期 第2四半期累計	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (%)
営業活動によるキャッシュ・フロー	921	1,491	570	161.8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 217	△ 476	△ 258	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 442	△ 1,641	△ 1,199	-
現金及び現金同等物に係る換算差額	259	514	255	198.6
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,478	8,106	△ 371	95.6

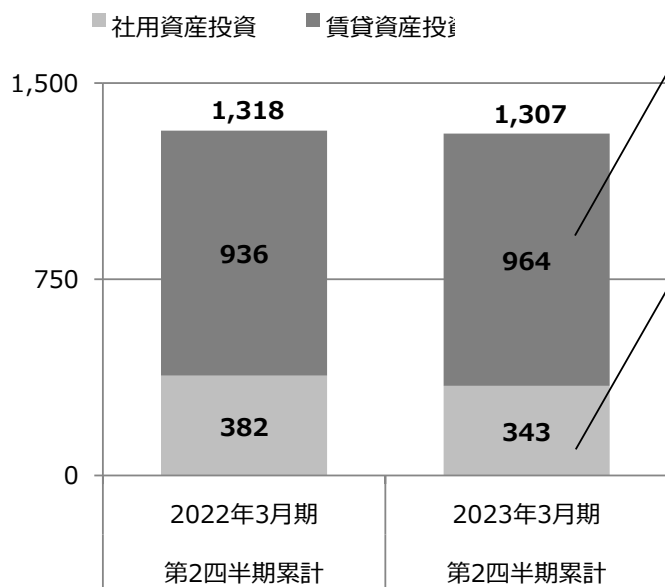
1. 連結決算の実績

(6) 設備投資、減価償却費等の状況

(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期累計	2023年3月期 第2四半期累計	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (%)
社用資産投資	382	343	△ 39	89.6
賃貸資産投資 (※)	936	964	28	103.0
設備投資計	1,318	1,307	△ 11	99.1
減価償却費	813	853	40	104.9
リース車輛保有台数	11,456台	11,181台	△ 275台	97.6

(※) 賃貸資産投資につきましては、リース会計基準の改正により、リース用車輛の投資債権は、流動資産の「リース投資資産」に計上しておりますが、比較の便宜上、設備投資として記載しております。



[賃貸資産投資]	
□	9億64百万円 (前年同期比 28百万円増)
(リース車輛保有台数は、前年同期比 275台減 11,181台)	
[社用資産投資]	
□	3億43百万円 (前年同期比 39百万円減)
主な投資内容	
・	稲沢西物流センター造作 1億33百万円
・	環境投資 43百万円
・	IT投資 87百万円

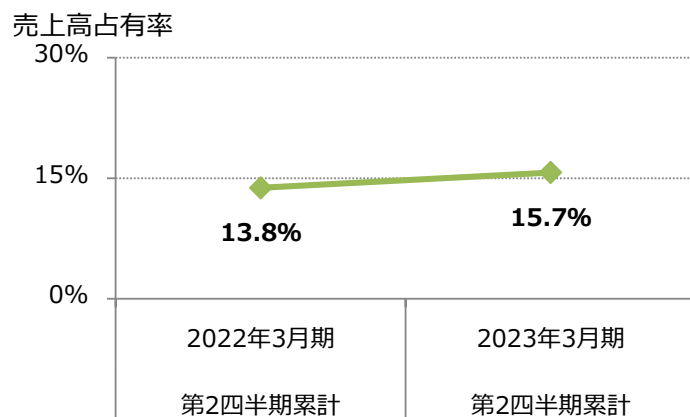
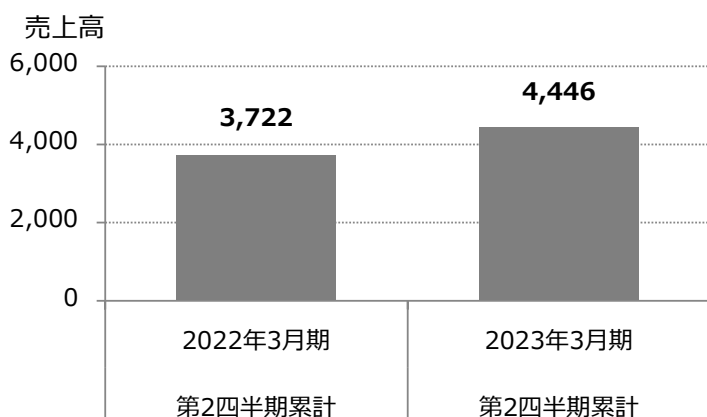
(7) 海外子会社の取引状況

(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期累計	2023年3月期 第2四半期累計	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (%)
連結売上高	26,948	28,317	1,369	105.1
海外子会社売上高	3,722	4,446	724	119.5

連結売上に対する占率

海外子会社占有率	13.8%	15.7%	1.9%
----------	-------	-------	------



1. 連結決算の実績

(8) 主要取引先との取引状況

(単位：百万円)

	2022年3月期 第2四半期累計	2023年3月期 第2四半期累計	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (%)
連結売上高	26,948	28,317	1,369	105.1
トヨタ自動車(株)様 ※1	5,845	5,352	△492	91.6
トヨタグループ企業様 ※2	5,466	6,349	883	116.2
合計	11,311	11,702	390	103.5

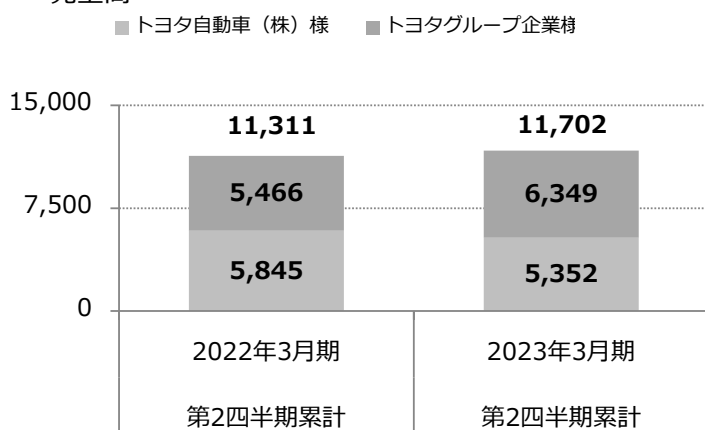
連結売上に対する占率

トヨタ自動車(株)様	21.7%	18.9%	△2.8%	
トヨタグループ企業様	20.3%	22.4%	2.1%	
合計	42.0%	41.3%	△0.7%	

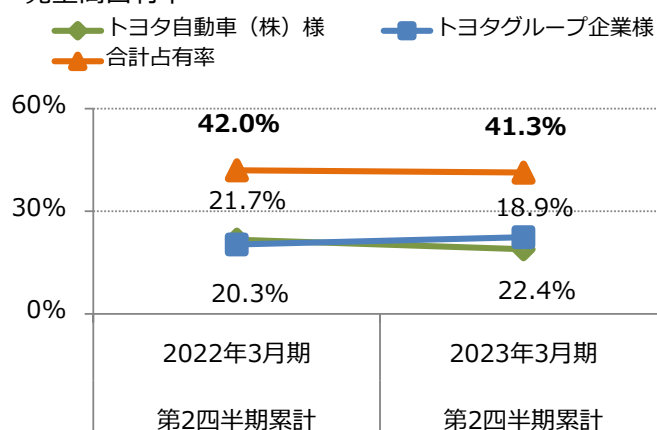
※1：2010年10月にトヨタ自動車(株)様から分離したトヨタホーム(株)様への売上金額は比較の便宜上、上期金額に含めております。

※2：トヨタグループ企業様の取引には、海外でのトヨタ自動車(株)様の現地子会社を含んでおります。

売上高



売上高占有率



(9) N L S (ニューロジスティクスサービス) 事業の取引状況

(単位：百万円)

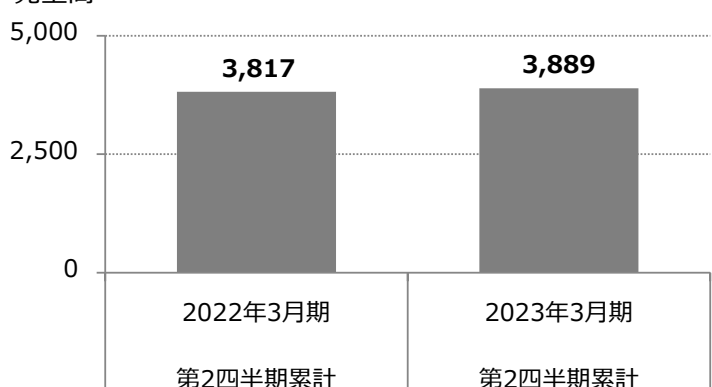
	2022年3月期 第2四半期累計	2023年3月期 第2四半期累計	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (%)
連結売上高	26,948	28,317	1,369	105.1
N L S事業売上高	3,817	3,889	71	101.9

連結売上に対する占率

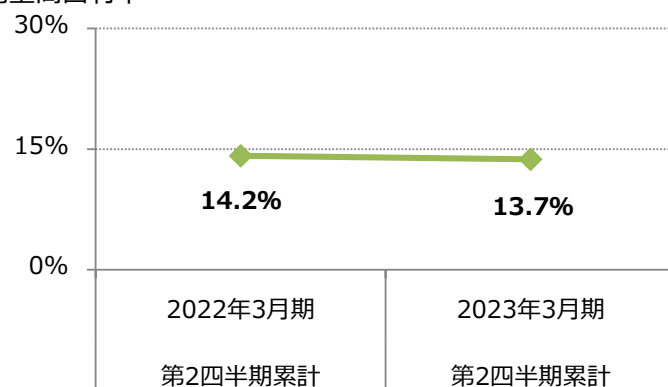
N L S事業占有率	14.2%	13.7%	△0.4%	
------------	-------	-------	-------	--

N L S事業は、トヨタ関連以外のお客様をターゲットとしてサービスを提供する3 P L (サード・パーティ・ロジスティクス) 事業のことです。

売上高



売上高占有率



1. 連結決算の実績

(10) 自動車サービス事業の管理車両台数状況

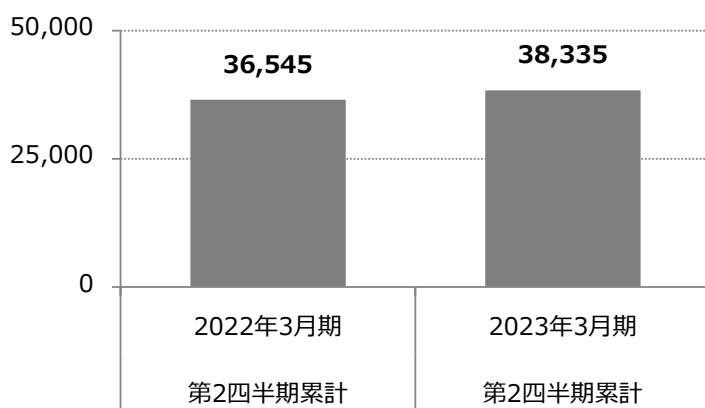
(単位：台)

	2022年3月期 第2四半期累計	2023年3月期 第2四半期累計	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (%)
管理車両台数※1	36,545	38,335	1,790	104.9
メンテナンス契約台数	32,153	33,667	1,514	104.7

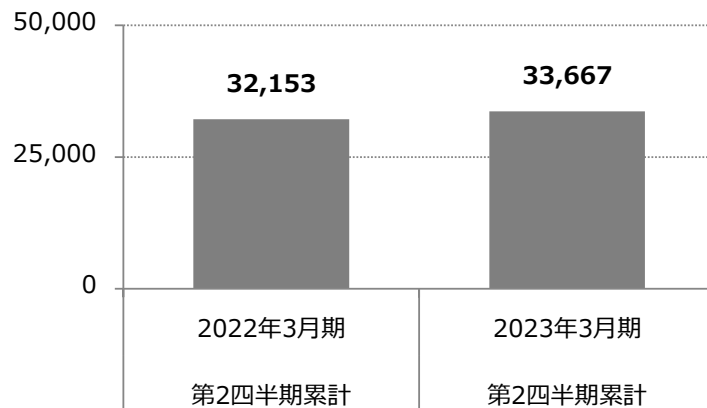
※1管理車両台数とは、当社独自開発の「人・組織・車両」を管理するシステム「KIBACO」により管理している車両台数の事です。

「KIBACO」により全国で車両を利用する大口法人のお客様（フリート）を中心に、カーナレッジサービスを提供し、お客様の最適な車両管理体制を構築する事により「安全・品質向上、コンプライアンス、コスト削減など」を実現しています。

管理車両台数



メンテナンス契約台数



2. 連結決算の予想

(1) 連結業績推移

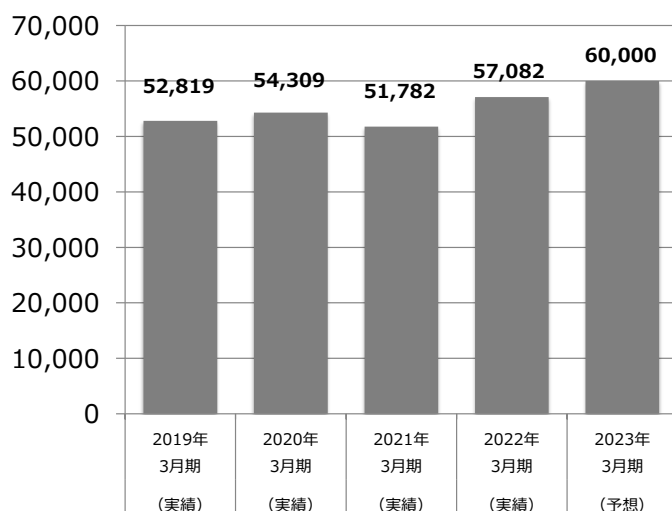
- ・ 売上高は、2期連続の増収を予想（過去最高）
- ・ 営業利益・当期純利益は、2期連続の増益を予想（いずれも過去最高）
- ・ 経常利益は、5期連続の増益を予想（過去最高）

(単位：百万円)

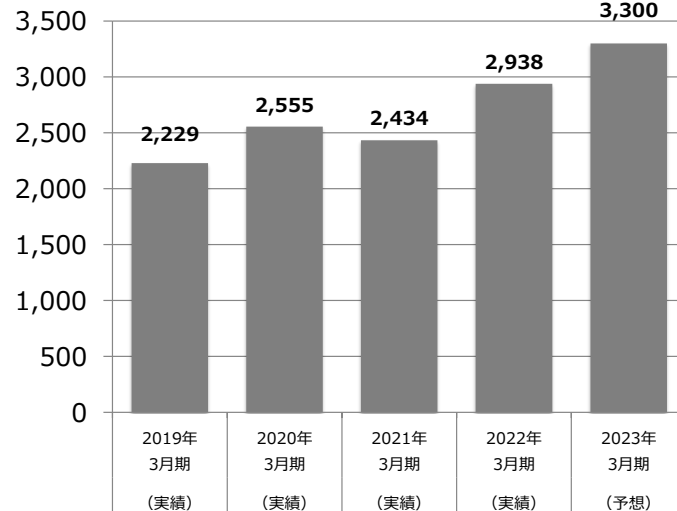
	2019年 3月期 (実績)	2020年 3月期 (実績)	2021年 3月期 (実績)	2022年 3月期 (実績)	2023年 3月期 (予想)	前期比 (増減額)	前期比 (%)
売上高	52,819	54,309	51,782	57,082	60,000	2,917	105.1
営業利益	2,229	2,555	2,434	2,938	3,300	361	112.3
経常利益	2,433	2,754	2,812	3,670	3,800	129	103.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,451	1,657	1,603	2,181	2,500	318	114.6
1株当たり当期純利益	120円27銭	137円33銭	132円86銭	91円48銭	104円86銭	13円38銭	

※2019年3月期から2021年3月期までの1株当たり当期純利益は、株式分割前の数値を表示しております。

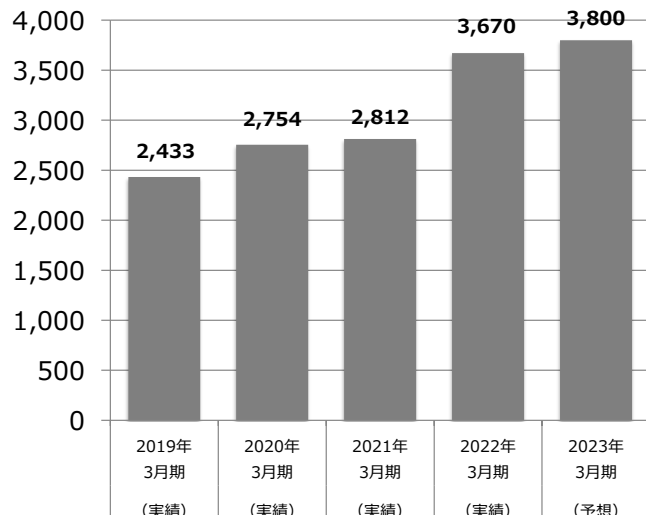
売上高



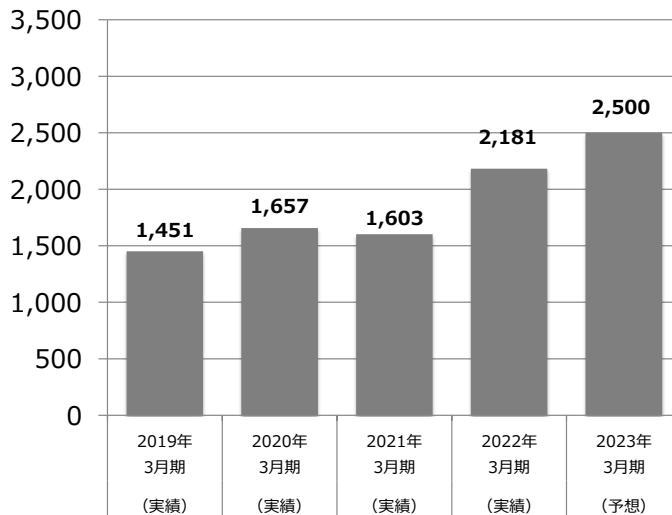
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



2. 連結決算の予想

(2) セグメント別業績推移

(単位：百万円)

	2019年 3月期 (実績)	2020年 3月期 (実績)	2021年 3月期 (実績)	2022年 3月期 (実績)	2023年 3月期 (予想)	前期比 (増減額)	前期比 (%)
物流サービス事業	36,021	37,639	35,885	40,973	42,800	1,826	104.5
自動車サービス事業	15,029	14,898	14,277	14,071	14,200	128	100.9
情報サービス事業	1,599	1,583	1,409	1,495	1,900	404	127.0
人材サービス事業	559	562	593	1,039	1,900	860	182.8
その他サービス事業	44	46	45	44	45	0	101.0
小計	53,254	54,731	52,212	57,624	60,845	3,220	105.6
消去又は全社	△ 435	△ 422	△ 429	△ 542	△ 845	△ 302	-
売上高	52,819	54,309	51,782	57,082	60,000	2,917	105.1
物流サービス事業	2,899	3,095	3,045	3,802	4,200	397	110.5
自動車サービス事業	300	502	545	657	730	72	111.0
情報サービス事業	168	135	103	88	180	91	202.4
人材サービス事業	7	22	14	5	30	24	533.9
その他サービス事業	11	13	11	11	15	3	125.9
小計	3,387	3,768	3,721	4,566	5,155	588	112.9
消去又は全社	△ 1,158	△ 1,213	△ 1,286	△ 1,628	△ 1,855	△ 226	-
営業利益	2,229	2,555	2,434	2,938	3,300	361	112.3

(3) 品目別業績推移

(単位：百万円)

	2019年 3月期 (実績)	2020年 3月期 (実績)	2021年 3月期 (実績)	2022年 3月期 (実績)	2023年 3月期 (予想)	前期比 (増減額)	前期比 (%)
包装	30,437	32,405	31,894	33,805	36,300	2,494	107.4
格納器具製品	5,584	5,233	3,990	7,168	6,500	△ 668	90.7
物流サービス事業	36,021	37,639	35,885	40,973	42,800	1,826	104.5
車両リース	7,329	7,333	7,237	7,036	6,800	△ 236	96.6
車両整備	4,027	4,143	4,129	4,396	4,590	193	104.4
自動車販売	2,757	2,519	2,013	1,767	1,820	52	103.0
カー用品販売	213	202	200	197	230	32	116.2
保険手数料	637	636	655	629	685	55	108.8
その他	64	63	39	43	75	31	171.5
自動車サービス事業	15,029	14,898	14,277	14,071	14,200	128	100.9
情報サービス事業	1,599	1,583	1,409	1,495	1,900	404	127.0
人材サービス事業	559	562	593	1,039	1,900	860	182.8
その他サービス事業	44	46	45	44	45	0	101.0
小計	53,254	54,731	52,212	57,624	60,845	3,220	105.6
セグメント間売上相殺	△ 435	△ 422	△ 429	△ 542	△ 845	△ 302	-
合計	52,819	54,309	51,782	57,082	60,000	2,917	105.1

2. 連結決算の予想

(4) 設備投資、減価償却費等の予想

(単位：百万円)

	2019年 3月期 (実績)	2020年 3月期 (実績)	2021年 3月期 (実績)	2022年 3月期 (実績)	2023年 3月期 (予想)	前期比 (増減額)	前期比 (%)
社用資産投資	1,351	1,666	1,608	1,220	1,550	329	127.0
賃貸資産投資 (※)	2,830	2,776	2,836	1,851	2,400	548	129.6
設備投資計	4,182	4,442	4,444	3,071	3,950	878	128.6
減価償却費	1,424	1,562	1,553	1,766	1,670	△ 96	94.5
リース車輛保有台数	13,029台	12,280台	11,839台	11,272台	11,500台	228台	102.0

(※) 賃貸資産投資につきましては、リース会計基準の改正により、リース用車輛の投資債権は、流動資産の「リース投資資産」に計上しておりますが、比較の便宜上、設備投資として記載しております。

2023年3月期の主な設備投資内容

[賃貸資産投資]

- 24億円 (前期比 5億49百万円減) を予想
(リース車輛保有台数は、11,500台 前期比 228台増 を予想)

[社用資産投資]

- 15億50百万円 (前期比 3億29百万円増) を予想

主な投資内容

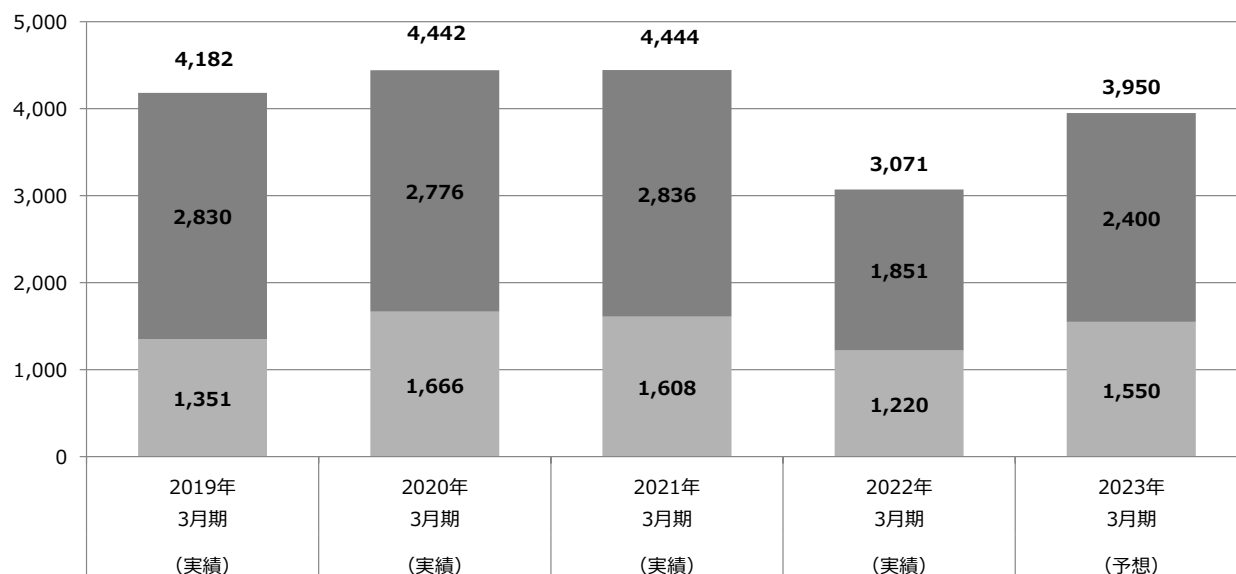
(国内)

- ・IT投資 4億円
- ・レーザー加工機 1億10百万円

(海外)

- ・北米子会社のレーザー加工機 90百万円

■ 社用資産投資 ■ 賃貸資産投資



3. 1 株当たり配当金推移

【配当方針】

企業体質強化と今後の積極的な事業展開に備えるため、継続的な安定配当の実施を基本としつつ、内部留保の充実に留意し、業績及び配当性向等を総合的に勘案して、配当政策を決定しております。また、これまでの財務基盤の強化や継続的な安定配当の姿勢からより重点分野への積極的投資や還元の向上に努め、これまで以上にステークホルダー重視の経営を行ってまいります。

【2023年3月期 配当金（予想）】

- ・中間配当金は、1株当たり15円を実施
- ・期末配当金は、1株当たり15円を予定
- ・年間配当金は、1株当たり30円を予定

株式分割を行い、分割後の金額を反映しております。

株式分割を考慮しない場合の年間配当予想は60円（8円増配）となります。

